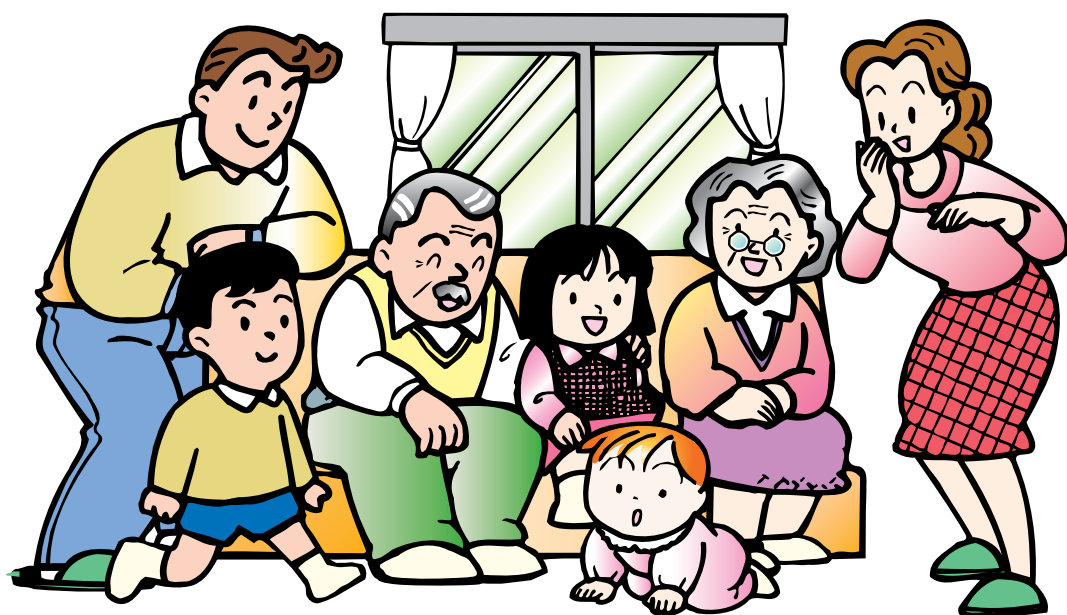


藤崎町地域福祉活動計画

「誰もが安心して暮らすことのできる
福祉のまちづくり」を目指して



平成20年度～平成24年度



社会福祉法人 藤崎町社会福祉協議会

は じ め に

~~~~~



近年、少子高齢化の進行や核家族化などにより地域環境や家庭環境は大きく変化し、地域住民相互のつながりも希薄化するなど地域社会を取り巻く環境は大きく変容しています。

また、ここ数年特に深刻な社会情勢により虐待や引きこもり等の新たな社会問題も多くなっています。よって、子供から高齢者まで、誰もが地域の中で個人として尊重され、自立し安心して暮らすことができる福祉のまちづくりがより一層必要になってきます。

この度、藤崎町社会福祉協議会では、地域福祉を計画的に推進していくため、藤崎町地域福祉活動計画を策定し、今後この計画にそって地域福祉を推進することになりました。

この計画は、行政をはじめ、町内会、地域住民、民生委員児童委員協議会、各関係機関並びにボランティアなどと連携・協働を図りながら、民間の立場で地域福祉を推進していくための活動・行動計画であり、その推進にあたっては、広範な皆様方からのご理解とご協力が必要となってまいります。

この計画に基づいて、これからの地域福祉をより一層進め、この計画の目標である「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」の実現を目指し、努力して行く所存でございます。

終わりに、この計画の策定にあたりまして、ご尽力を賜りました多くの関係者各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

平成20年3月

社会福祉法人藤崎町社会福祉協議会

会 長 石 澤 善 成

~~~~~


第1章 地域福祉活動計画の基本方針

第1節	地域福祉活動計画策定の目的	1
第2節	地域福祉活動計画の果たす役割	1
第3節	地域福祉活動計画の基本理念と基本計画	2
第4節	地域福祉活動計画の期間と構成	3
第5節	地域福祉活動計画の策定方法	3

地域福祉活動計画体系図	5
-------------	---

第2章 藤崎町の概況及び社会福祉の状況

第1節	藤崎町の概況	6
第2節	人口構造と世帯の推移	7
第3節	高齢者のいる世帯の状況	8
第4節	要介護者等の状況	9
第5節	高齢者の就業状況	10
第6節	保育所児童数等の状況	11
第7節	障害種別の年齢構成	12

第3章 基本計画と実施計画

第1節	住民参加と小地域ネットワーク活動の推進	13
●	現状と課題	13
●	実施事業	16
第2節	地域福祉サービスの推進	20
●	現状と課題	20
●	実施事業	22
第3節	福祉教育・ボランティア活動の推進	26
●	現状と課題	26
●	実施事業	28
第4節	福祉情報の提供・総合相談・生活支援機能の充実	32
●	現状と課題	32
●	実施事業	34
第5節	社協基盤の充実・強化	38
●	現状と課題	38
●	実施事業	40

第4章 計画の進行管理と評価・修正44

資 料

地域福祉に関する町民意識調査集計結果.....	45
地域福祉に関する町民意識調査（中学生版）集計結果.....	55
藤崎町地域福祉活動計画策定経過.....	68
藤崎町社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会設置要綱...	69
藤崎町地域福祉活動計画策定委員名簿.....	71
藤崎町地域福祉活動計画作業委員名簿.....	72



第 1 章

地域福祉活動計画の基本方針

第 1 節 地域福祉活動計画策定の目的

第 2 節 地域福祉活動計画の果たす役割

第 3 節 地域福祉活動計画の基本理念と基本計画

第 4 節 地域福祉活動計画の期間と構成

第 5 節 地域福祉活動計画の策定方法

地域福祉活動計画体系図

第1節 地域福祉活動計画策定の目的

少子高齢化の進行や核家族化などにより地域環境や家庭環境は大きく変化し、地域住民相互のつながりも希薄化するなど地域社会を取り巻く環境は大きく変容しています。

また、近年の深刻な社会情勢により虐待や引きこもり等の新たな社会問題も多くなっています。

このような社会情勢を踏まえ、地域が抱える多種多様な福祉課題を把握し、地域社会において高齢者や障害のある人、子どもなど、全ての人が同じ社会の一員として、日常生活を営むノーマライゼーション^{*1}の理念を反映させ、住民・行政・関係団体・企業等の理解と協力のもと、社会福祉協議会（以下「社協」とします。）が進めてきた小地域を中心とした住民参画による様々な福祉活動やインフォーマル^{*2}な活動の中で住民参加による福祉のまちづくりに関する福祉事業を推進し、住民一人ひとりが住み慣れた地域において安心して生活ができるよう、相互に支え合う福祉（地域）社会の構築を目的とします。

第2節 地域福祉活動計画の果たす役割

地域福祉活動計画とは、現在、地域福祉に関するニーズが多様化・複雑化している中で、住民参加による地域での支え合い・助け合い活動を実現するために、住民や関係団体等が主体的に参加協力して策定する民間の活動計画です。

この計画の役割は、中・長期的な福祉のまちづくりの基本方針（方向性）を住民・関係団体等に明示し、住民や福祉活動を行う行政・関係団体・企業等の関係者との協働のもとで、地域福祉の充実に向けた取り組むべき事業や活動方針を示したものです。

* 1 障害のある人を特別視せず、普通の人と同じように受け入れ、ともに社会の一員として生活を営んでいこうとする考え方。

* 2 制度化された公的なサービスではなく、地域住民、ボランティア等によって行われる「非公式」な援助サービスのこと。

第3節 地域福祉活動計画の基本理念と基本計画

地域福祉活動計画は、藤崎町社協の基本理念である子どもから高齢者まで「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を目指し、地域における様々な福祉課題の解決に向けた取り組みを官・民協働で組織的かつ計画的に事業を推進するために策定します。

そのため、本計画では次の5つの柱を基本計画として策定します。

基本計画① 住民参加と小地域ネットワーク^{*3}活動の推進

子どもから高齢者まで、住み慣れた地域において安心して生活ができるよう、地域の実情に応じて住民参加を主体とした小地域福祉活動を推進します。

基本計画② 地域福祉サービスの推進

住み慣れた地域において自立した生活ができるよう、福祉サービスを充実します。

基本計画③ 福祉教育・ボランティア活動の推進

子どもから高齢者までの福祉教育の充実・意識改革を図ることにより、住民が主体的に参加する福祉のまちづくりへの活動意欲を高め、住民参加の拡大を図ります。

基本計画④ 福祉情報の提供・総合相談・生活支援機能の充実

住民の日常生活の支援ができるよう、福祉情報の提供及び総合相談や生活支援機能を充実します。

基本計画⑤ 社協基盤の充実・強化

社協が地域福祉活動を推進する中核として、様々な福祉事業が積極的に推進できるよう、その基盤となる役員組織、職員体制及び財政基盤の強化を図ると共に、社協会員の加入促進を図ります。

^{*3} ネット（網）とワーク（仕事、働く）の複合語で、このことから「網の目のように相互に連絡・連携しあう」こと。

第4節 地域福祉活動計画の期間と構成

1. 計画の策定

平成19年4月から平成20年3月までとします。

2. 計画の期間

平成20年度から平成24年度までの5年計画とします。

3. 計画の構成

実施計画は、基本計画における個々の現状と課題に対する具体的な内容を設定し、推進項目・事業項目（事業名）・事業の具体的な実施内容・役割分担・年次別計画・予定財源で構成します。

更に、本計画を推進する上で、社協並びに行政が実施する諸調査等を踏まえ、平成22年度（中間年度）に本計画の見直しをします。

第5節 地域福祉活動計画の策定方法

1. 地域福祉活動計画策定委員会の設置

藤崎町社協地域福祉活動計画策定委員会設置要綱（平成19年10月23日施行）により、平成19年10月23日に民生委員児童委員・社会福祉施設・教育関係団体・社会福祉関係者・町民代表・関係行政機関・社協代表10名の委員を委嘱して策定にあたりました。

2. 地域福祉活動計画作業委員会の設置

行政福祉担当職員・社協職員10名による作業委員を選任し原案づくりを進めました。

3. 調査の実施

計画策定の基礎資料を得ることを目的に、次の調査を実施しました。

◇町民意識調査

調 査 名 称	藤崎町・藤崎町社協地域福祉に関する町民意識調査
調 査 対 象	藤崎町在住の20歳以上の方
配布数・抽出法	1,480名を無作為抽出
有効回収数(回収率)	1,334 (90.1%)
調 査 方 法	民生委員児童委員が、対象者に調査票を配布し、後日回収

◇中学生意識調査

調 査 名 称	藤崎町・藤崎町社協地域福祉に関する町民意識調査（中学生版）
調 査 対 象	中学生 543名
有効回収数(回収率)	513 (94.0%)
調 査 方 法	学校を通して調査票を配布し、回収

4. 地域福祉座談会の実施

藤崎町内を10地区に分けて開催し、「藤崎町・藤崎町社協地域福祉に関する町民意識調査」の集計結果をもとに意見聴取をしました。

No.	開催日時	参加者数	対象町内・地区
1	平成19年11月27日(火)	10名	福館・富柳
2	11月27日(火)	8名	林崎・葛野・藤越・水沼・東町 西豊田1丁目～3丁目
3	11月28日(水)	3名	矢沢・小畑・中島
4	11月28日(水)	15名	俵舂・下俵舂・柏木堰
5	12月3日(月)	19名	中野目・吉向・亀岡・西中野目
6	12月3日(月)	8名	徳下・福島・三ッ屋
7	12月6日(木)	8名	水木・久井名館・福左内
8	12月6日(木)	17名	常盤・若松・西田・榊・亀田
9	12月7日(金)	13名	舟場・みつや・表町・仲町・曲新田 本町・木挽町・朝日町・館川町・下町 緑町・横町・伝馬・白子・新町
10	12月14日(金)	11名	若柳
参加者総数		112名	

地域福祉活動計画体系図

藤崎町地域福祉活動計画の目指すもの

『誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり』

基本計画①

住民参加と小地域ネットワーク
活動の推進

基本計画②

地域福祉サービスの推進

基本計画③

福祉教育・
ボランティア活動の推進

基本計画④

福祉情報の提供・総合相談
生活支援機能の充実

基本計画⑤

社協基盤の充実・強化

実
施
事
業

(連携・協働)

住 民
社 協
町
町内会
関係機関
関係団体
学 校
企 業
社会福祉施設
医療機関

第一章
地域福祉活動計画の基本方針

第二章
藤崎町の概況及び社会福祉の状況

第三章
基本計画と実施計画

第四章
計画の進行管理と評価・修正

資料

第 2 章

藤崎町の概況及び社会福祉の状況

第 1 節 藤崎町の概況

第 2 節 人口構造と世帯の推移

第 3 節 高齢者のいる世帯の状況

第 4 節 要介護者等の状況

第 5 節 高齢者の就業状況

第 6 節 保育所児童数等の状況

第 7 節 障害種別の年齢構成

第1節 藤崎町の概況

藤崎町は、旧藤崎町と旧常盤村が平成17年3月28日に合併して誕生したまちです。

青森県津軽平野のほぼ中央に位置し県内主要都市に囲まれ、交通面でも国道7号、国道339号、JR奥羽本線、JR五能線等を擁し、立地優位性の高いまちです。

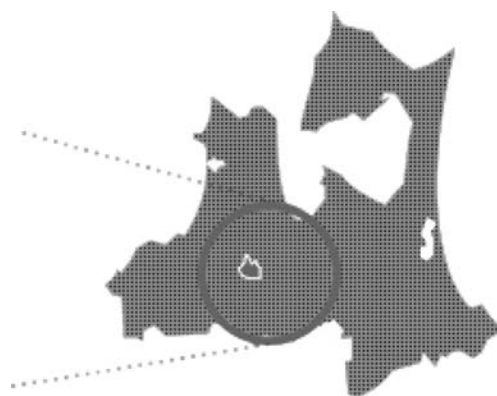
また、西に岩木山、東に八甲田連峰などの雄大な自然を背景に、浅瀬石川、平川、岩木川の三大河川が合流する地点に位置し、農業に適した肥沃な沖積層の土壌に恵まれ、りんご「ふじ」発祥の地、有機栽培による良質米生産の先進地として、他に誇れる農業の町として発展してきました。現在は、ニンニクや野菜・花きなどの多様な特産物づくりも進めています。

かつて津軽地方をおよそ350年にわたって支配した安東氏の居城・藤崎城が築かれた地として町内各地には貴重な歴史遺産や伝統芸能等が多数点在しています。この伝統を受け継ぎ、教育や文化・スポーツ活動への関心が高く、各種イベントと共に、活発な教育・文化活動が展開されています。

藤崎町は、「みんなで創る 心豊かな 優しいまち」を合い言葉に、“子どもたちに未来を託せる・育てやすいまち” “都市を結ぶ交流拠点・出かけやすいまち” “水と緑の田園文化が薫る・暮らしやすいまち”を目指しています。

藤崎町の基本データ

面積	37.26平方キロメートル
人口	16,627人（平成19年10月31日現在）
世帯数	5,337世帯（平成19年10月31日現在）



第2節 人口構造と世帯の推移

藤崎町の総人口は、昭和60年から減少傾向にありましたが、平成12年以降はほぼ横ばいとなっています。

年代別に見ると、平成12年以降、40～64歳人口及び前期高齢者人口（65～74歳）はほぼ横ばいで推移しているのに対し、後期高齢者人口（75歳以上）は増加傾向にあります。また、昭和60年から平成17年までの20年間で、65歳以上の高齢者人口は1.8倍に増え、中でも、85歳以上の高齢者人口は4倍弱に増加しています。

総人口及び高齢者数の推移

（単位：人）

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
総人口	17,620	17,139	16,940	16,858	16,976	16,871	16,790	16,791	16,776
40～64歳人口	5,829	5,941	5,946	5,751	5,867	5,855	5,790	5,750	5,800
構成比	33.1%	34.7%	35.1%	34.1%	34.6%	34.7%	34.5%	34.2%	34.6%
65～69歳人口	758	942	1,132	1,264	1,248	1,201	1,185	1,148	1,074
70～74歳人口	671	671	859	1,042	1,042	1,090	1,122	1,139	1,164
前期高齢者人口	1,429	1,613	1,991	2,306	2,290	2,291	2,307	2,287	2,238
構成比	8.1%	9.4%	11.8%	13.7%	13.5%	13.6%	13.7%	13.6%	13.3%
75～79歳人口	495	540	567	756	778	801	851	855	888
80～84歳人口	230	347	414	443	419	453	477	541	556
85歳以上人口	105	154	264	348	352	363	372	395	401
後期高齢者人口	830	1,041	1,245	1,547	1,549	1,617	1,700	1,791	1,845
構成比	4.7%	6.1%	7.3%	9.2%	9.1%	9.6%	10.1%	10.7%	11.0%
高齢者人口	2,259	2,654	3,236	3,853	3,839	3,908	4,007	4,078	4,083
高齢化率	12.8%	15.5%	19.1%	22.9%	22.6%	23.2%	23.9%	24.3%	24.3%
青森県	10.4%	12.9%	16.0%	19.5%	20.1%	20.2%	21.0%	21.5%	21.9%
全 国	10.3%	12.0%	14.5%	17.3%	17.9%	18.4%	19.0%	19.5%	—

《資料：平成12年以前は国勢調査、平成13年以降は各年4月1日現在の住民基本台帳人口》

《第3期藤崎町高齢者保健福祉計画介護保険事業計画参考》

第3節 高齢者のいる世帯の状況

藤崎町の一般世帯数は、昭和60年から1.2倍ほどの増加傾向にある中、高齢者のいる世帯数は1.8倍に増え、総世帯に占める割合も平成17年に6割弱となっています。中でも、高齢者単独世帯や高齢者夫婦世帯数は昭和60年からの20年間でそれぞれ4.7倍、2.6倍に増加しています。

高齢者のいる世帯の推移

(単位：人)

		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
一般世帯数		4,222	4,303	4,454	4,615	5,016	5,034	5,086	5,145	5,217
	旧藤崎町	2,701	2,729	2,824	2,917	3,227	3,221	3,240	3,240	3,282
	旧常盤村	1,521	1,574	1,630	1,698	1,789	1,813	1,846	1,905	1,935
高齢者のいる世帯数		1,682	1,949	2,284	2,580	2,834	2,922	2,998	3,032	3,056
構成比		39.8%	45.3%	51.3%	55.9%	56.5%	58.0%	58.9%	58.9%	58.6%
	旧藤崎町	1,092	1,239	1,433	1,618	1,876	1,912	1,958	1,981	1,982
	(構成比)	40.4%	45.4%	50.7%	55.5%	58.1%	59.4%	60.4%	61.1%	60.4%
	旧常盤村	590	710	851	962	958	1,010	1,040	1,051	1,074
	(構成比)	38.8%	45.1%	52.2%	56.7%	53.5%	55.7%	56.3%	55.2%	55.5%
高齢者単独世帯数		86	154	210	280	422	385	394	406	408
構成比		2.0%	3.6%	4.7%	6.1%	8.4%	7.6%	7.7%	7.9%	7.8%
	旧藤崎町	67	121	151	179	309	293	295	294	281
	(構成比)	2.5%	4.4%	5.3%	6.1%	9.6%	9.1%	9.1%	9.1%	8.6%
	旧常盤村	19	33	59	101	113	92	99	112	127
	(構成比)	1.2%	2.1%	3.6%	5.9%	6.3%	5.1%	5.4%	5.9%	6.6%
高齢者夫婦世帯		117	176	253	333	261	271	273	294	302
構成比		2.8%	4.1%	5.7%	7.2%	5.2%	5.4%	5.4%	5.7%	5.8%
	旧藤崎町	84	121	170	224	166	175	179	187	195
	(構成比)	3.1%	4.4%	6.0%	7.7%	5.1%	5.4%	5.5%	5.8%	5.9%
	旧常盤村	33	55	83	109	95	96	94	107	107
	(構成比)	2.2%	3.5%	5.1%	6.4%	5.3%	5.3%	5.1%	5.6%	5.5%

《資料：平成12年以前は国勢調査、平成13年以降は各年4月1日現在の住民基本台帳世帯数》

《第3期藤崎町高齢者保健福祉計画介護保険事業計画参考》

第4節 要介護者等の状況

要介護^{*4}（要支援）^{*5}認定者数の推移を見ると、第1号被保険者^{*6}の要介護（要支援）認定者数及び認定率は年々増加傾向にあり、中でも、要支援及び要介護1の認定者数増加率が高くなっています。また、第1号被保険者の認定率（第1号被保険者数に占める認定者の割合）は平成16年度で20％と比較的高い数値となっています。

要介護認定者の状況

（単位：人）

		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
第1号被保険者	要支援	76	14.4%	100	16.4%	131	17.9%	132	16.7%	127	15.4%
	要介護1	150	28.5%	166	27.2%	223	30.5%	271	34.3%	285	34.6%
	要介護2	97	18.4%	117	19.2%	120	16.4%	102	12.9%	114	13.9%
	要介護3	61	11.6%	75	12.3%	82	11.2%	106	13.4%	93	11.3%
	要介護4	73	13.9%	69	11.3%	90	12.3%	83	10.5%	97	11.8%
	要介護5	70	13.3%	83	13.6%	85	11.6%	96	12.2%	107	13.0%
	合計	527	100.0%	610	100.0%	731	100.0%	790	100.0%	823	100.0%
	認定率	13.7%	—	15.6%	—	18.1%	—	19.3%	—	20.0%	—
第2号被保険者	要支援	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%
	要介護1	6	35.3%	5	33.3%	7	38.9%	10	45.5%	7	23.3%
	要介護2	2	11.8%	5	33.3%	5	27.8%	4	18.2%	9	30.0%
	要介護3	3	17.6%	2	13.3%	4	22.2%	4	18.2%	7	23.3%
	要介護4	2	11.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	2	6.7%
	要介護5	4	23.5%	3	20.0%	2	11.1%	3	13.6%	4	13.3%
	合計	17	100.0%	15	100.0%	18	100.0%	22	100.0%	30	100.0%
	認定率	0.3%	—	0.3%	—	0.3%	—	0.4%	—	0.5%	—
被保険者合計	要支援	76	14.0%	100	16.0%	131	17.5%	132	16.3%	128	15.0%
	要介護1	156	28.7%	171	27.4%	230	30.7%	281	34.6%	292	34.2%
	要介護2	99	18.2%	122	19.5%	125	16.7%	106	13.1%	123	14.4%
	要介護3	64	11.8%	77	12.3%	86	11.5%	110	13.5%	100	11.7%
	要介護4	75	13.8%	69	11.0%	90	12.0%	84	10.3%	99	11.6%
	要介護5	74	13.6%	86	13.8%	87	11.6%	99	12.2%	111	13.0%
	合計	544	100.0%	625	100.0%	749	100.0%	812	100.0%	853	100.0%
	認定率	13.7%	—	15.6%	—	18.1%	—	19.3%	—	20.0%	—

《第3期藤崎町高齢者保健福祉計画介護保険事業計画参考》

※第2号被保険者とは、医療保険に加入している40歳以上65歳未満の人。

- *4 要介護状態にある65歳以上の人、あるいは要介護状態にある40～64歳までの人で、特定疾病によって、身体上か精神上的の障害を持つと認められた人。
- *5 要介護者となる可能性があり、身支度や家事など日常生活に支援が必要な65歳以上の人か、要介護者となる可能性がある40～64歳の人であって、その原因が特定疾病による人をいう。
- *6 日本国内に住所を有する65歳以上の人。

第5節 高齢者の就業状況

高齢者の就業率は年々増加し、平成12年国勢調査によると、全国や青森県に比べ第1次産業就業者の割合が大きくなっています。

藤崎町の65歳以上の労働人口は1,259人で、全労働人口に占める割合は14.22%となっており、そのほとんどが農業に従事していることがわかります。

高齢者の就業状況

(単位：人)

産業分類別		全労働人口		65歳以上労働人口			
		人 数	割 合	人 数	全労働人口に占める割合	65歳以上労働人口に占める割合	業種別総数に占める割合
総 数		8,854	100.00%	1,259	14.22%	100.00%	—
第1次	農 業	2,510	28.35%	952	10.75%	75.62%	37.93%
	林 業	5	0.06%	0	—	—	—
	漁 業	0	0.00%	0	—	—	—
第2次	鉱 業	2	0.02%	0	—	—	—
	建 設 業	1,069	12.07%	79	0.89%	6.27%	7.39%
	製 造 業	1,073	12.12%	22	0.25%	1.75%	2.05%
第3次	電気・ガス・熱供給水道業	33	0.37%	0	—	—	—
	運輸・通信業	377	4.26%	8	0.09%	0.64%	2.12%
	卸売・小売業・飲食店	1,523	17.20%	106	1.20%	8.42%	6.96%
	金融・保険業	123	1.39%	1	0.01%	0.08%	0.81%
	不動産業	13	0.15%	4	0.05%	0.32%	30.77%
	サービス業	1,837	20.75%	82	0.93%	6.51%	4.46%
	公 務	285	3.22%	5	0.06%	0.40%	1.75%
	そ の 他	4	0.05%	0	—	—	—

《資料：平成12年国勢調査》

《第3期藤崎町高齢者保健福祉計画介護保険事業計画参考》

第6節 保育所児童数等の状況

少子高齢化の進行、家族形態・就労形態の変化に伴い、保育需要の多様化が見られ、利用者のニーズ^{*7}に合ったサービスの提供、子育て家庭を支援するネットワークの構築が必要です。

保育所児童数の推移

(単位：人)

区分 施設名	入所児童数			定員
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
	児童数 (入所受託児童数)	児童数 (入所受託児童数)	児童数 (入所受託児童数)	
藤崎保育所	144	142	141(4)	150
西中野目保育所	61	56(1)	52(1)	60
小畑保育所	51	51(1)	51(2)	45
ふじ保育園	64(4)	65(8)	65(8)	60
ときわ保育園	132(2)	128(2)	128(5)	120
水木保育園	48	43(1)	43(2)	60
福島保育園	44	43	43(2)	45
計	544(6)	528(13)	523(24)	540
入所委託児童数	29	41	33	

《みんなで創るふじさきプラン参考》

放課後児童クラブ ^{*8} 登録児童数	244人（平成18年）
------------------------------	-------------

*7 需要、要求。

*8 就労等により、昼間保護者のいない家庭の小学生（概ね10歳未満）の児童を対象に、放課後に公共施設等を利用して適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を図る事業のこと。

第7節 障害種別の年齢構成

身体に障害のある人は、平成18年で17歳以下の障害のある子どもが6人で全体の0.8%であり、65歳以上の高齢者が69.7%を占め、ほぼこの水準で推移しています。

また、知的に障害のある人では、平成18年現在、障害のある子どもが全体の20.2%を占め、身体に障害のある人よりも構成比が高く、18歳以上の障害のある人数と共に増加の傾向が見られます。

精神に障害のある人では、50～64歳の層が多くなっていますが、その割合は年々低下の傾向を示している一方、若年層の占める割合が高まる傾向を示しています。

障害種別・年齢別の動向

(単位：人)

		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
身体障害者（児）	5歳未満	1	1	2	2
	5～17歳	3	3	4	4
	18～29歳	10	11	13	15
	30～39歳	11	12	15	18
	40～49歳	36	38	40	41
	50～64歳	138	139	141	143
	65歳以上	504	505	507	514
身体障害 総数		703	709	722	737

知的障害者（児）	6歳未満	2	2	2	3
	6～17歳	13	15	16	19
	18～29歳	23	23	24	26
	30～39歳	10	12	12	13
	40～49歳	16	17	17	18
	50～64歳	19	19	20	20
	65歳以上	10	10	10	10
知的障害 総数		93	98	101	109

精神障害者	19歳以下	0	0	0	0
	20～29歳	12	15	16	18
	30～39歳	11	12	14	17
	40～49歳	14	14	15	19
	50～64歳	35	37	38	41
	65歳以上	13	14	14	15
精神障害 総数		85	92	97	110

《各4月1日現在》

《藤崎町障害者計画・障害福祉計画参考》

第 3 章

基本計画と実施計画

第 1 節 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

第 2 節 地域福祉サービスの推進

第 3 節 福祉教育・ボランティア活動の推進

第 4 節 福祉情報の提供・総合相談・生活支援機能
の充実

第 5 節 社協基盤の充実・強化